

3月のアンケート結果

◎……よくあてはまる ○……あてはまる △……どちらともいえない ×……あてはまらない

児童による評価結果

	◎	○	△	×
わたしは、 <small>がっこう たの</small> 学校が楽しい。	60%	40%		
わたしは、 <small>せんせい ともだち だいじ</small> 先生や友達から大事にされている。	33%	60%	7%	
わたしは、 <small>ともだち</small> 友達といろいろなことをよく話し合っている。	80%	20%		
わたしは、 <small>せんせい</small> 先生といろいろなことをよく話し合う。	40%	20%	40%	
わたしは、 <small>いえ まいにちどくしょ</small> 家で毎日読書をしている。	13%	13%	53%	20%
わたしは、よく <small>うんどう そとあそ</small> 運動や外遊びをする。	53%	40%	7%	
わたしは、 <small>ともだち じぶん ところ</small> 友達に自分のよい所を知ってもらっている。	47%	47%	6%	
わたしは、 <small>せんせい じぶん</small> 先生に自分のことをよく知ってもらっている。	33%	40%	27%	
<small>せんせい わ</small> 先生は、 <small>べんきょう おし</small> 分かりやすく勉強を教えてくれる。	33%	53%	7%	7%
わたしは、 <small>いえ べんきょう</small> 家で勉強している。	53%	33%	14%	

保護者による評価結果

	◎	○	△	×
学級での授業は、子どもの学力を伸ばす授業になっているか。(無票1)	21%	65%	14%	
子どもは、学習内容が理解できており、基礎的な学力が身につけている。	6%	61%	27%	6%
子どもは、毎日、家庭学習を続けて行っている。	6%	62%	20%	12%
子どもが問題集をした時は、いつも丸付けをしている。		12%	20%	67%
子どもは、毎日、家庭で読書を続けて行っている。	6%	12%	49%	33%
家庭で本の読み聞かせや親子読書をしている。		6%	20%	74%
学級の中で一人一人の子どもが大切にされているか。	47%	40%	13%	
保護者として、子どものことをよく理解している。	12%	82%	6%	
先生に子どものことをよく理解してもらっている。	18%	82%		
子どもにとって学校は楽しい場所になっている。	40%	34%	27%	

教職員による評価結果

	◎	○	△	×
児童の学力を伸ばす授業ができていますか。		100%		
児童に基礎学力がついているか。	20%	80%		
児童の家庭学習の習慣化に向けて取組を行えているか。	20%	80%		
児童の家庭学習での読書の習慣化に向けての取組を行えているか。	20%	20%	60%	
一人一人を大切にされた学級経営ができていますか。	20%	80%		

児童にとって学校は楽しい場所になっているのか。	20%	80%		
-------------------------	-----	-----	--	--

教職員の自己評価結果と児童・保護者の外部評価結果より

- *「**学校が楽しいか**」については、児童・教職員の10割以上が、楽しいと感じているが、保護者は7割である。どのような点でそう感じておられるのか、「児童にとって学校は楽しい所」となっていることを、家庭での話題にしたり、理解してもらえるよう働きかけていく必要がある。
- *「**学習内容の理解**」については、児童・教職員が8割以上が理解していると評価しているが、保護者は6割以上である。児童の学習指導の充実が、保護者の理解を得ていない。家庭学習での子どもの姿を定着させていく必要がある。
- *「**一人一人が大切にされているか**」については、7割以上の児童が大切にされていると考えている。学級経営において、「一人一人の児童を大切にすること」を、さらに、共通理解していき、一人一人のセルフエステームを高めていきたい。
- *「**家庭学習の習慣化**」については、8割の児童・教職員が、出来ていると評価している。しかし、保護者の目には、まだまだ行えていないと感じておられる。保護者が児童の家庭学習に具体的に関わっていけるように、働きかけていく必要がある。
- *「**家庭読書の習慣化**」については、児童・保護者・教職員ともに、家庭読書ができていますという評価は低い。児童・保護者が、方法や読書内容など、家庭読書のやり方にまで具体的に関わっていけるように、教職員が働きかけていく必要がある。

保護者より △や×をつけた理由と改善策、ご意見やご要望

- ・何でも挑戦することはいいことなのですが、中身がともなわないことが多い。学校が忙しい場になっている気がするので、ゆっくりでもしっかり定着する課題を与えたほうがいい。
- ・教科書も薄い中で、もっと学校で問題の数をこなす時間が必要かと思う。すべての保護者が子ども達の家庭学習のフォローが完全に出来るのか不安になる。
- ・図書の充実、新聞教育、100冊読破の取組等のおかげで読むことへの興味が深まったように思う。ただ、冊数にこだわるあまり、時間をかけて読み進めていく本への挑戦する意欲に欠けている。
- ・家庭学習を親が不在の時にどれだけ、どんな様子でやったのかわからない。100マスや本読みなど、親に計ってもらうとか、聞いてもらうとか、毎日の習慣となる宿題を出してほしい。
- ・図書の本を借りてくるのが減り、家で本を読むことがなくなった。少し残念です。
- ・基本的に読書することが嫌いです。また、ゆっくりと余裕な時間が無いのも現実です。